

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

危険です！委託の大切な施設、こんなメンテに誰がした？？



2016年竣工案件の委託を受け、処理槽の下見に入りました。

ブロワー室は、写真の通り見るも無残のありさまで、またですか、虚しい気分となります。

大切な施設、こんなメンテに誰がしたと問いたくなりますが、言ったってしょうがない気分になさしてくれます。



ブロワー室

清掃実施後
清潔な空間を創ることができました。以前のブロワー室では、機器の寿命が短くなります。



流入ポンプ槽は油脂が堆積しても、上記同様に何にも施さず、ただ目視点検の域を出ていないようです。

ポンプ槽に設置の散気装置が、吹き出し笑っているかのよう、むなしく曝気しています。推察、引き抜きを計上したが承諾もらえず、放置したか？



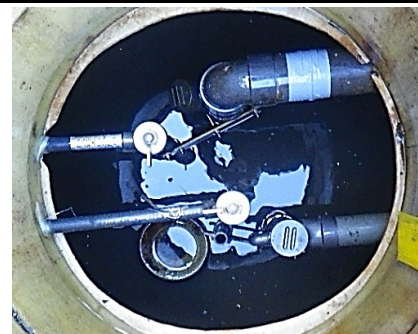
流入ポンプ槽

初回点検実施
油脂分除去しました。正常なポンプ槽には暫く時間を要します。



分離槽は浮上堆積のスカムをガッチリため込んでいます。冬場が幸いし、害虫の発生は小規模にとどまっていますが……。

その周辺は臭気が強く、マンホールは腐食が進行しています。ところどころMHのボルトねじ穴が、ゆる穴になって正確に締め込みができていません。流化ガスが発生し危険な状態です。



分離槽

浮上スカム
担体槽返送

点検の結果、スカムとガス及び臭気は一掃されました。

水物語 No73

優美な貴婦人、カトレアは洋ランの女王です！！



汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京

いささか季節を過ぎていますが・・・。「洋ランの女王」と呼ばれ、華やかな姿が人気のカトレアは、19世紀ごろ中南米で発見されました。その優美な姿は世界的にも愛され、洋ランの代名詞として君臨しています。

発見者であり、初の栽培成功者・植物収集家ウイリアム・ムカトリーの名前から「カトレア」と命名されたそうです。

カトレアは着生植物であり優美な姿に似つかず、樹皮に張り付くようにして生活します。雨水や着生した樹皮を伝って落ちてきた水を素早く取り込み、その後ゆっくりと吸収します。根は葉緑体を持ち、光合成の能力をもった不思議な植物です。

花は茎の先端から出て1から数輪つきます。その先端で卵型に広がり、周囲はひだになってうねり、中央は濃く色ずき、非常に華やかで優雅・優美な装いとなります。

少年時代、耳にした♪カトレアのように派手な人 スズランのように愛らしく また忘れな草の花に似て……………♪カトレアを見ていると、そんな素敵な歌詞が蘇ります。

コロナで揺れる今日この頃、ベランダの花を眺めて癒されてます！